

ボツワナ共和国月報(2025年8月)

主な出来事

【内政】

- レラティシツェ元保健大臣死去
- フォレンジック監査への市民参加プラットフォームの立ち上げ
- 2024-2025年の雨期の雨量は平均から平均以上
- 第13回議会第1会期第3回会議が閉会
- 新旧保健大臣ら、米国制裁の可能性
- 汚職・経済犯罪局、記者会見を実施

【外政】

- ボコ大統領、ザンビアを訪問し、MOUに関する共同声明を発出
- ブタレ国際関係大臣、トルコを訪問し、ビザなし渡航等について合意
- ボコ大統領、南アフリカを訪問し、アフリカ水投資サミットに出席
- ハオラテ副大統領兼財務大臣、TICAD9に出席
- ハオラテ副大統領兼財務大臣、AIBOSと会談
- ブタレ国際関係大臣、岩屋外務大臣と二国間協議を実施
- ハオラテ副大統領、JICA幹部と会談
- ハオラテ副大統領、豊田通商幹部と会談
- ハオラテ副大統領、農林水産大臣政務官と会談
- ボツワナ政府、カタールの投資会社と120億ドルの投資合意
- ブタレ国際関係大臣、シンガポールにて、第5回シンガポール・アフリカ閣僚交流訪問(SAMEV)に出席

【SADC関連】

- SADC、DRC和平プロセスのためのEAC-SADC合同共同議長会議を開催
- 第45回SADC首脳会合の開催
- マホシSADC事務局長、TICAD9に出席し、日本の外務副大臣と会談
- マホシSADC事務局長、日本の国会議員と会談
- SADC、アフリカ・ガバナンス・センター(ACG)との覚書(MoU)に署名

【経済】

- インフレ率(2025年7月)―年間インフレ率1.1%に下落―
- 国際商品貿易統計(2025年6月)
- 保健大臣、公共医療危機に言及
- ボツワナ経済変革ラボ始動
- ボコ大統領、医療危機を宣言
- 政府Facebookでの医薬品等配布状況公開

【大使館関連行事】

- ユニセフボツワナによる緊急時栄養食品の配布式典に参加
- ボツワナ見本市2025への出展と最優秀賞の受賞

【内政】

○ レラティシツェ元保健大臣死去

2日、レラティシツェ前保健大臣が死去した。同前大臣はボテティ東選挙区選出の元国民議会議員で、2024年9月、保健大臣に任命された。警察によると、前大臣は殺人未遂事件で手配中だった。

○ フォレンジック監査への市民参加プラットフォームの立ち上げ

7日、ボコ大統領は現在進められているフォレンジック監査への市民参加プラットフォームの立ち上げを発表した。市民は、汚職、詐欺、横領に関する情報や証拠等をこのプラットフォームに共有できるようになる。

○ 2024-2025年の雨期の雨量は平均から平均以上

11日、ボコ大統領は2024—2025年の雨期の雨量は平均から平均以上となる見通しを示した。一方、穀物生産量は上向くと予想しつつも、食料が不安定になる家庭もあるとし、引き続き2026年6月30日まで、生後6～59か月の子どもへの追加的食料供給の一律実施等の救済緩和措置を継続するとした。

○ 第13回議会第1会期第3回会議が閉会

15日、第3回会議（冬期会議）が閉会した。前日（14日）には、付加価値税修正法、デジタルサービス法、サイバーセキュリティ法、大麻法、麻薬及び向精神物質の違法取引法が第3読会を経て成立した。

○ 新旧保健大臣ら、米国制裁の可能性

ルビオ米国国務長官は、キューバの医療従事者の海外派遣が搾取であるとして、対策を強化すると発表した。ボツワナでは、これまで35年に渡りキューバの医療従事者を受け入れてきている。米国は、こうした派遣を幫助した者に制裁を実施するとしており、ディコロティ元保健大臣及びモディセ保健大臣を含めたボツワナの保健関係者が制裁の対象となる可能性がある。

○ 汚職・経済犯罪局、記者会見を実施

27日、汚職・経済犯罪局（DCEC）のマケケネネ局長は記者会見を実施し、同局が捜

査をしている事件が約1600件あり、そのうち政治家に関するものは9件であることを明らかにした。また、7月にボツワナ政府がモツェペ南ア元大使に公式に謝罪をした、ボツワナ銀行から1000億ブラが消えたとされたバタフライ事件が和解に至り、解決されたことも明らかにした。

【外政】

○ボコ大統領、ザンビアを訪問し、MOUに関する共同声明を発出

1日～2日、ボコ大統領はザンビアを訪問し、ハカインデ・ヒチレマ・ザンビア大統領と会談した。また、また同訪問中、二国間委員会(BNC)の第1回会合にも出席し、保健、高等教育、災害リスク管理に関する協力、貿易振興、投資といった分野における協力覚書(MOU)に関する共同声明を発出した。

○ブタレ国際関係大臣、トルコを訪問し、ビザなし渡航等について合意

11日～14日、ブタレ国際関係大臣はトルコを訪問し、ハーカン・フィダン・トルコ外務大臣と会談した。会談で、両大臣は①外交旅券及び公用旅券所持者に対するビザなし渡航、②ボツワナのトルコへの在外公館設置に対する支援、③外交研修及び情報・文書交換における協力に関する協力覚書、④政治協議に関する協力覚書について合意した。同訪問にはケネンド鉱物資源・エネルギー大臣及び政府高官も同行した。

○ボコ大統領、南アフリカを訪問し、アフリカ水投資サミットに出席

13日～15日、ボコ大統領は、ケープタウン(南アフリカ)を訪問し、2025年アフリカ水投資サミットに出席した。同大統領は、気候変動に強い水投資に対するリーダーシップとコミットメントを称えるイニシアチブである「グローバル・ウォーター・チェンジメーカーズ・アワード」の議長として出席した。

○ハオラテ副大統領兼財務大臣、TICAD9に出席

20日～22日、ハオラテ副大統領は、第9回アフリカ開発会議(TICAD9)に出席するため日本を訪問した。経済をテーマとした本会議にて、同副大統領はAI、ロボット工学、先端製造業、輸送、エネルギー、食料システム、観光、ヘルスケアにおけるプロジェクトでの日本との協力機会を強調した。また、同訪問中、同副大統領は石破総理との首脳会談、JICAとの協議等を実施した。同訪問には、ブタレ国際関係大臣が同行した。

○ハオラテ副大統領兼財務大臣、AIBOSと会談

20日、TICAD9で訪日中のハオラテ副大統領は、DXを支援する日本企業AIBOSの代表者らと会談した。会談では、若者のエンパワーメント、AIを活用した再スキル化及びイノベーションについて協議した。

○ ブタレ国際関係大臣、岩屋外務大臣と二国間協議を実施

20日、TICAD9で訪日中のブタレ国際関係大臣は、岩屋外務大臣との外相会談を実施。会談では、2026年の日・ボツワナの外交関係樹立60周年に触れ、両国の長年にわたる友好関係と強固な経済関係を強調した。特に、医薬品の不足への日本の支援や産業技術教育・職業訓練(TVET)における協力強化、査証免除協定の締結、投資協定について、議論した。

○ ハオラテ副大統領、JICA幹部と会談

21日、TICAD9で訪日中のハオラテ副大統領は、安藤直樹JICA上級副理事長と会談した。同副大統領はボツワナ新政権のロードマップについて説明しつつ、経済の多角化と国民の国づくりへの有意義な参加・貢献を目指す「ボツワナ経済変革プログラム(BETP)」を最近立ち上げたことを強調した。加えて、ボツワナの公共サービスに対する支援を要請した。なお、同会談にはブタレ国際関係大臣も同席した。

○ ハオラテ副大統領、豊田通商幹部と会談

22日、TICAD9で訪日中のハオラテ副大統領は、今井・豊田通商 CEOと会談した。会談では、ボツワナ政府と豊田通商は、グリーンエネルギー、鉱業、農業、水開発における協力に向けた協力覚書(MoU)を作成することで合意した。

○ ハオラテ副大統領、農林水産大臣政務官と会談

22日、TICAD9で訪日中のハオラテ副大統領は、山本佐知子農林水産大臣政務官と会談した。会談では、食料生産を改善し、近代的な農業手法と技能開発を通じてレジリエンスを構築するための取り組みについて、協議した。

○ ボツワナ政府、カタールの投資会社と120億ドルの投資合意

21日、ボツワナ政府は、カタールの投資会社アル・マンスール・ホールディングスとの間で、120億ドルの投資合意に署名した。この投資は、エネルギー、インフラ、鉱業、ダイヤモンド、農業、防衛、サイバーセキュリティといった主要分野で実施される。

○ ブタレ国際関係大臣、シンガポールにて、第5回シンガポール・アフリカ閣僚交流訪問(SAMEV)に出席

26～28日、ブタレ国際関係大臣はシンガポールを訪問し、第5回シンガポール・アフリカ閣僚交流訪問(SAMEV)に出席した。同大臣は同フォーラムへの出席に際して、ビビアン・バラクリシュナン・シンガポール外務大臣と会談を実施し、シンガポールがボツワナに専門家を派遣し、ボツワナの公共サービスと緊密に協力することに合意した。

【SADC関連】

○ SADC、DRC和平プロセスのためのEAC-SADC合同共同議長会議を開催

1日、DRC和平プロセスのための東アフリカ共同体(EAC)及び南部アフリカ開発共同体(SADC)の合同共同議長会議がナイロビ(ケニア)にて開催され、共同声明が発出された。共同声明では、AUの調停者とEAC-SADCのファシリテーターから構成されるEAC-SADCとアフリカ連合(AU)のDRC和平プロセスの統合、AUC、EAC、SADCの事務局を統合し、AUCによって運営される合同事務局を設置することが発表された。

○ 第45回SADC首脳会合の開催

17日、アンタナナリボ(マダガスカル)にて、第45回SADC首脳会合が開催された。本会合にはSADC加盟各国から首脳等が出席し(ボツワナからはボコ大統領が出席)、ルアンダ・ナイロビの和平プロセス、西サハラの自決権の追求に関する覚書、SADC地域開発基金、ジェンダーに基づく暴力(GBV)等の議題が扱われた。また、共同声明にて、エリアス・マホシ現事務局長を2期目として再任することが公表された。

○ マホシSADC事務局長、TICAD9に出席し、日本の外務副大臣と会談

20～22日、マホシSADC事務局長は日本を訪問し、TICAD9に出席した。本期間中に同事務局長は藤井比早之外務副大臣と会談を実施。両者は、バリューチェーン開発、輸送回廊管理及び民間セクターの協力強化といった重要な分野における協力の強化について協議した。

○ マホシSADC事務局長、日本の国会議員と会談

マホシSADC事務局長はTICAD9期間中、日本の国会議員らとSADC地域指標戦略開発計画(RISDP)に概説されているSADCの開発優先事項について協議した。

○ SADC、アフリカ・ガバナンス・センター(ACG)との覚書(MoU)に署名

27日、SADCは、汎アフリカに焦点を当てた戦略・ガバナンス・アドバイザリーサービス企業であるアフリカ・ガバナンス・センター(ACG)との間で、SADCの目指す平和、安定、安全に貢献するための協力の枠組みを提供する1年間の協力覚書(MoU)をハボローネで締結した。

【経済】

○ インフレ率(2025年7月)―年間インフレ率1.1%に下落―

7月の年間インフレ率は前月から0.9%ポイント下落し、1.1%を記録した。主な要因は、食料・非アルコール飲料とその他商品・サービスがそれぞれ0.6と0.7%ポイン

ト変動したことによる。一方、住宅、水、電気並びにガス及び燃料グループは -0.7に、また、輸送グループは-0.5%となった。全国消費者物価指数(CPI)は0.7%ポイント下落した。

○ 国際商品貿易統計(2025年6月)

6月の輸入額は67.211億プラで、前月の85.013億プラ(改定値)から20.9%下落した。主要な輸入品目は燃料(21.4%)、食品・飲料・たばこ(16.4%)、機械・電気機器(15.8%)であり、次いで化学品・ゴム製品(10.5%)とダイヤモンド(10.2%)が続いた。

輸入の大部分(71.4%)は南部アフリカ関税同盟(SACU)からのもので、南アフリカだけで66.0%を占めた。次いで中国(6.8%)、ナミビア(5.1%)、モザンビーク(3.3%)が続いた。同期間の輸出総額は75.017億プラで、前月の72.866億プラ(改定値)から3.0%の増加となった。主な輸出品はダイヤモンド(75.6%)と銅(14.1%)であり、機械・電気機器は3.2%を占めた。

○ 保健大臣、公共医療危機に言及

5日、モディセ保健大臣は、公共医療の状況について国民議会で演説した。公立病院における医薬品等の不足は、政府が高度医療を含む公立病院で対応出来ない症例を私立病院に紹介し、医療を受けた際の費用が政府の債務として10億プラにまで積み上がり、2025年度予算は前年度までの返済で使い切っているため、医薬品等を調達できない状況と説明した。こうした状況により、当面私立病院への患者の移送を停止することも発表した。

○ ボツワナ経済変革ラボ始動

11日、ボコ大統領はボツワナ経済変革プログラム(BETP)の「ラボ」の開始を宣言した。このラボは、これまでのボツワナ経済の非効率に終止符を打つため、経済変革の計画から実行までを中心的に担う。4週間にわたり、専門家が実務的な議論を行い、計画を精査する。

○ ボコ大統領、医療危機を宣言

25日、ボコ大統領は、憲法に基づき公衆衛生上の緊急事態を宣言した。中央医療備蓄システムの崩壊により、国内の医療品の供給網に混乱が生じていた。この事態に対応するため、同大統領は、50億プラのヘルス・ファースト・ボツワナ・パートナーシップ基金の設立を含む4つの対応策を打ち出した。また、同大統領は医薬品が適正価格の10倍に高騰していることも明らかにし、調達システムの透明性や効率性を高めるため、徹底的な見直しを約束した。保健省、大統領府、ボツワナ国防軍等の担当官からなる国

家タスクフォースが立ち上げられ、抜本的な解決が議論される。

○ 政府Facebookでの医薬品等配布状況公開

政府は、必須医薬品及び医療品の国内緊急配布に関して、現在のところスムーズに行われているとし、配布先の情報を同アカウントにて更新している。

【大使館関連行事】

○ ユニセフボツワナによる緊急時栄養食品の配布式典に参加

14日、ダカールにおいて、日本政府が支援するユニセフボツワナを通じた子どものための緊急時栄養補助食品の配布式典が行われ、在ボツワナ日本国大使館から小川参事官が出席した。現地ではユニセフボツワナとボツワナ赤十字社の協働による児童公園建設事業の引き渡し式も行われた。

○ ボツワナ見本市2025への出展と最優秀賞の受賞

在ボツワナ日本国大使館は、8月25日から31日までハボローネ市内で開催されたボツワナ見本市に日本文化紹介ブースを出展し、同見本市事務局が定める外交団部門において最優秀賞を受賞した。

(了)